

下田氏が初当選



〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番9号
東 奥 日 報 社
電話 017-739-1111
(C)東奥日报社 2004

インターネット
号外

購読の
ご問い合わせは
東奥日报社販売局
017-739-1111
24時間受付

民主比例代表で

十一日投票が行われた第二十回参院選比例代表で、弘前市の学校法人理事長下田敦子氏(63)＝民主新・元県議＝が国政初挑戦で当選を果たした。

下田氏は一九九一年から二〇〇三年四月まで県議二期を務めた。○四年二月の弘前市長選に市民団体などから推される形で市政刷新を掲げて出馬し、現職の金沢隆氏に百八十票

差で惜しくも敗れた。その後、「健全な二大政党制を実現するため」との理由で民主党から参院選に出馬する意向を固め、三月末に同党比例代表東北ブロック重点候補として公認を受けた。

選挙戦では、地方の「自立力」向上、産業構造の転換、日本農業の再生、利権政治の根絶などを掲げ、県内を中心に約八十力所で

演説会を開催。市長選で築いた支援態勢をいかすとともに、同党本県選挙区候補の田名部匡省氏と連動する形で支持を訴えた。

当選の知らせを受け、十一日午前四時前、急きよ弘前市内の事務所に駆けつけた下田氏は「田名部先生や民主連のおかげで当選できた」と喜びを語った。

詳細は夕刊で



当選を決め万歳する下田敦子氏(12日午前3時52分、弘前市)